

### せき 慢性の咳

( 2 )

2002.5.1発行

季節を問わず、咳でお悩みの方は意外に多いものです。今回は2週間以上続く“慢性の咳”の原因・治療についてお話しします。

院長 大崎緑男

## 1. “慢性の咳”とは

咳とは気道(咽頭・喉頭・気管支)や横隔膜に何らかの刺激が加わり誘発される呼吸運動です。“かぜ”の場合咽頭・喉頭炎の刺激により咳が誘発され、多くは2週間以内に治まります。2～3週間以上続く頑固な咳を“慢性の咳”と称し、原因として多くの病気があります。時に、重大な病気が隠れていることもあります。

## 2. “慢性の咳”の原因

“慢性の咳”の原因としては表に示すように、多くの病気があります。大きく分けると肺癌・間質性肺炎・肺結核のように肺に原因があり胸部レントゲン検査を行えば診断が可能な病気と、気管支喘息などの胸部レントゲン検査での診断が困難な病気に分類できます。主なものを表に示しました。

### “慢性の咳”の原因と治療

#### 胸部レントゲン検査で診断可能な病気

病名	治療
肺癌	手術 抗癌剤
肺結核	抗結核剤
間質性肺炎	ステロイド剤 免疫抑制剤

#### 胸部レントゲン検査では診断困難な病気

病名	治療
気管支喘息・咳喘息	吸入ステロイド剤 気管支拡張剤 抗アレルギー剤
アレルギー性咳	抗アレルギー剤 吸入ステロイド剤
胃食道逆流症	制酸剤
後鼻漏(こうびろう)	抗生剤 抗アレルギー剤
かぜ(咽喉頭炎)後の咳	漢方薬 鎮咳剤 吸入ステロイド剤
高血圧治療薬による咳	服薬中止
気管支拡張症	去痰剤 抗生剤(増悪時)
慢性気管支炎	去痰剤 気管支拡張剤 抗生剤(増悪時)

### 3. 胸部レントゲン検査での診断が困難な病気

- **気管支喘息・咳喘息**：夜間から早朝にかけての咳・喘鳴（ぜんめい）が特徴的です。空気の寒暖の差、運動、受動喫煙によっても咳発作は誘発されます。また、喘鳴を伴わない咳喘息という病気もあります。家塵・ダニなどが原因で発作が起こるアトピー型と原因不明の非アトピー型に分けることができます。おもに吸入ステロイド剤、気管支拡張剤による治療を行ないます。
- **アレルギー性咳**：太い気管支（主気管支）や咽喉頭におけるアレルギー性炎症に由来する咳です。喘息と違い気道の反応性（刺激による咳の増悪）は弱いです。抗アレルギー剤が有効です。
- **胃食道逆流症**：胃液が食道に逆流する病気です。胃液が食道に逆流した時の刺激で咳反射が起きると考えられています。食道炎の症状（胸やけなど）を伴うことが多いです。制酸剤による治療を行ないます。
- **後鼻漏（こうびろう）**：慢性副鼻腔炎やアレルギー性鼻炎の患者さんにおいて、鼻汁が喉に落ちることを後鼻漏といいます。鼻汁が喉に落ちる刺激により咳が生じます。慢性副鼻腔炎では抗生剤、アレルギー性鼻炎では抗アレルギー剤による治療を行ないます。
- **かぜ（咽喉頭炎）後の咳**：かぜ症候群（咽喉頭炎）が治癒した後も、咳のみが持続する場合があります。多くは“からぜき”です。咽喉頭粘膜が傷ついて、回復が遅れていることが原因と考えられます。漢方薬や吸入ステロイド剤が有効です。
- **高血圧治療薬（ACE 阻害剤）による咳**：高血圧の治療薬である ACE 阻害剤の副作用で“からぜき”が起きることがあります。服薬の中止により咳は消失します。
- **気管支拡張症**：過去の肺炎などの影響で気管支が永続的に拡張している病気です。膿性痰を伴います。時に咯血・血痰を認めます。去痰剤、抗生剤（増悪時）による治療を行ないます。
- **慢性気管支炎**：3ヶ月以上の長期にわたり痰を伴う咳を認める病気です。ほとんどが喫煙歴のある男性です。去痰剤、気管支拡張剤、抗生剤（増悪時）による治療を行ないます。

### 4. 当クリニックで行っている検査

- **胸部レントゲン検査**：肺癌、肺結核などの重大な病気をみつける検査です。
- **肺機能検査**：気管支喘息のような気道が狭くなっている病気をみつける検査です。
- **可逆性検査**：気管支をひろげる薬剤を吸入し、肺機能や症状が改善するかをみる検査です。改善がみられた場合、気管支喘息と診断できます。気管支喘息か否かを明らかにする検査です。
- **血清抗体検査（RAST 法）**：血液を採って調べる検査です。ダニや家塵等の抗原に反応する抗体が存在するかを調べます。気管支喘息やアレルギー性咳の原因抗原を明らかにする検査です。
- **喀痰検査**：胸部レントゲン検査で異常がなくても、気管支内に癌や結核病変が存在することがあります。痰を採取して癌細胞や結核菌の存在を調べる検査です。

### 5. 治療について

表ページの表に示したように、咳の原因により治療内容は異なります。問診および検査結果より考えられる病気に対する治療を行ないますので、ご相談ください。